令和7年度　一般選抜1期　国語　問題

一　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

問題文につきましては、著作権の関係上、入試問題集には記載しておりません。

問1　傍線部a、b、c、d、eのカタカナと同じ漢字を用いるものをそれぞれア～オのうちから一つずつ選び、記号で答えなさい。

a　タク越
ア　荒地をカイタクする　イ　調査をイタクする　ウ　汚れもののセンタク　エ　遅いキタク時間　オ　夕飯のショクタク

b　平オン
ア　湿度とキオンが高い　イ　オントウな解決策　ウ　漢文のオンドク　エ　一宿一飯のオンギ　オ　被害者のオンネン

c　ウナガされ
ア　サイソクする　イ　キソクを守る　ウ　一触ソクハツ　エ　ソクタツ郵便　オ　時代へのヘイソク感

d　コ舞
ア　絵画のコテンを開く　イ　リコ的な行動　ウ　コチョウした表現　エ　祭りでタイコをたたく　オ　人員をテンコする

e　カ敢
ア　カゲキな意見　イ　ゴウカな食事　ウ　りんごのカジュウ　エ　口数の少ないカモクな人　オ　カコクな労働

問2　傍線部①に「ただその中で、カツオだけがキャラクターを変えています。」とありますが、筆者は「カツオ」がキャラクターを変えた理由をどのように捉えていますか。その説明として最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　「サザエさん」の作者たちが、平凡な日常を大切にする柳田國男の主張に共感し、それを表現するには優等生のワカメよりもカツオの方がふさわしいと思ったから。
イ　「サザエさん」の作者たちが、漫画のマンネリ化を防ぐために、主要な登場人物であるカツオのキャラクターを時代の流行に合わせて変化させたから。
ウ　「サザエさん」の作者たちが、日々の暮らしの中では平凡教育的なものが大切だと考えるようになり、それをカツオに体現させようと思ったから。
エ　「サザエさん」の作者たちが、現代の学校教育に潜んでいる問題点を指摘するため、あえて模範的ではない性格の登場人物としてカツオを設定したから。
オ　「サザエさん」の作者たちが、もともと主人公のサザエさんとカツオのキャラクターがよく似ていたので、その差別化を図ろうとして修正を加えたから。

問3　傍線部②に「このように柳田は指摘しているのです。」とありますが、柳田が指摘している内容として、最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　教育には平凡教育と非凡教育があり、ともに重要なものなので誰もが両者に触れておく必要がある。
イ　平凡教育は人が生きていく上で極めて重要であり、地域社会の人びとに積極的に学ぶことが求められた。
ウ　平凡教育では、農業や漁業などの生産技術や集団組織の持ち方など、技能の習得に重点が置かれていた。
エ　平凡教育では、地域社会で人が共生するための知恵を日々の生活の中で自然な形で全員に伝えていた。
オ　非凡教育は他人より自分を優先させる教育であり、教育の重要性という点では平凡教育に劣っている。

問4　傍線部③の「この問題点」の説明として、最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　現代の学校教育の基本には、競争原理に基づく非凡教育的な考え方が置かれていること。
イ　現在の親は非凡教育の虜になっているケースが多く、情操教育の視点がおろそかになっていること。
ウ　非凡教育では、人の一部分の評価だけでその人全体を評価してしまう傾向が強いということ。
エ　他者との比較を行うために、非凡教育にはいくつかの基準を設けざるを得ないということ。
オ　非凡教育での特定の基準による評価とその人に対する全面的な評価とが合致しないということ。

問5　傍線部④に「伊佐坂難物という小説家が住んでいます。」とありますが、本文中に描かれる難物氏の人物像の説明として、最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　非凡教育的な価値観を重視する人物。
イ　一般常識とは異なる考えをする人物。
ウ　学校教育に批判的な意見を持つ人物。
エ　平凡教育的な考えを持っている人物。
オ　発言に一貫性のない矛盾した人物。

問6　空欄［　I　］に当てはまるセリフとして、最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　おとなりのご主人は部長におなりですって。
イ　昔はもっと家事を手伝ってくれましたよね。
ウ　もう少しお給料が上がると助かるんですが。
エ　新聞は読み終わったら畳んでしまってくださいね。
オ　洗濯物はちゃんと洗濯機に入れておいてください。

問7　傍線部⑤の「孤立した問い」とはどのような問いのことですか。その説明として最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　知っている者が知らない者に対して知識を試すような問い。
イ　専門分野を学んだ者にしか答えることができないような問い。
ウ　問いに答えることにどんな意味があるのかが分かりにくい問い。
エ　答えを知ったところで生活の場で生かされることのない問い。
オ　学校教育で学力という名で押し付けられる知識を重視した問い。

問8　本文の冒頭の波線部分に、A「親分教育」、B「村人全体への教育」とありますが、その後に出てくるCDEFGHまでの各波線部分はそれぞれA、Bのどちらに関するものですか。これを分類したものとして最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　（A）CE　（B）DFGH
イ　（A）CDH　（B）EFG
ウ　（A）CEF　（B）DGH
エ　（A）DEH　（B）CGF
オ　（A）DEFG　（B）CH

問9　この文章の構成や内容に関する説明として、最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　はじめに村の教育にはリーダー教育と平凡教育があったことを述べ、次にこの両者の性質を柳田國男の言葉やアニメの例などを挙げて比較するとともに平凡教育の重要性を確認し、最後に鷲田清一の言葉を引用しながら学校教育の問題点を指摘している。
イ　はじめに教育には親分教育と相互教育があったことを述べ、次に柳田國男の言葉をもとにリーダー教育の課題を浮き彫りにし、最後にアニメの例や鷲田清一の言葉を引用しながら重ねてリーダー教育の問題点を明らかにしている。
ウ　はじめにリーダー教育と学校教育には共通点があることを述べ、次に柳田國男の言葉やアニメの例などを用いて平凡教育の意義と問題点を指摘し、最後に鷲田清一の言葉を借りてリーダー教育と平凡教育の優劣を論じている。
エ　はじめに村の教育にはリーダー教育と平凡教育があったことを述べ、次に柳田國男の言葉やアニメの例などを挙げて教育に対する考えが時代とともに変化してきたことを述べ、最後に鷲田清一の言葉を引用しながら現代の学校教育を批判している。
オ　はじめに教育の原型が地域の小さなコミュニティにあったことを述べ、次に柳田國男の言葉やアニメの例などを挙げて平凡教育の実態を明らかにし、最後に鷲田清一の言葉を引用しながらリーダー教育と平凡教育の違いを確認している。

二　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

問題文につきましては、著作権の関係上、入試問題集には記載しておりません。

問1 傍線部a「一役買った」、b「軋轢が生じた」、c「忸怩たる思い」、d「十把一絡げ」の本文中での意味に最も近いものを、それぞれ**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

a 一役買った
ア 最終手段を用いた　**イ** 十分な結果を残した　**ウ** 注目を集めた
エ 一定の役割を果たした　**オ** 費用をかけた

b 軋轢が生じた
ア 意見の違いが明らかになった　**イ** 話合いが持たれた　**ウ** 仲が悪くなった
エ 妥協点を探るようになった　**オ** あきらめの気持ちが生まれた

c 忸怩たる思い
ア 残念に思う気持ち　**イ** 腹立たしい気持ち　**ウ** 恥ずかしく思う気持ち
エ 心配する気持ち　**オ** 改善に向けた前向きな気持ち

d 十把一絡げ
ア 何もかも一緒くたにして扱う　**イ** 様々なものごとの共通点をさぐる　**ウ** もともとは違うものを一つにまとめる
エ 意見の違いをそれぞれ尊重する　**オ** 様々なことがもつれてからまりあう

問2 傍線部①に「全ての食肉牛を対象にした全頭検査を開始することを述べ」とありますが、筆者はこの「全頭検査」をどのように評価していると思われますか。その説明として最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 世界に例を見ない国を挙げての画期的な取り組みであり、国民の安心と安全の確保という点で重要な役割を果たした。
イ 科学的に考えると全頭検査は実効性を伴わない気やすめに過ぎず、もっと効率的な予算の使い方があったはずである。
ウ 安全を最優先する日本の国民性を踏まえると、効果の有無にかかわらず検査は実施しなければならないものであった。
エ 国民の不安を鎮めるという意味では一定の効果があったが、検査の結果そのものにはそれほどの意義は認められない。
オ 実施しなかった場合と単純に比較はできないが、早めに全頭検査に踏み切ったことが感染拡大の抑止に大きく貢献した。

問3 空欄 A 、 B 、 C 、 D に当てはまる語の組み合わせとして、最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
ア	だが	また	しかし	そして
イ	ところが	従って	また	つまり
ウ	しかし	つまり	従って	ところが
エ	一方で	そして	だが	従って
オ	従って	なるほど	しかし	つまり

問4 空欄 I に当てはまる漢字四字の熟語として最も適当なものを、次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 適材適所　**イ** 唯一無二　**ウ** 真実一路　**エ** 一心同体　**オ** 表裏一体

問5 傍線部②に「BSEの全頭検査のある意味での「成功」は日本の科学分析にとって非常に大きな障害となったと思う。」とありますが、どういうことですか。その説明として最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 科学的立場からはあまり意味のない検査でも、実施しなければならないような雰囲気が出来上がってしまった。
イ 長期間にわたる全頭検査によって、本来なら科学分析に充てるはずだった巨額の予算が消費されてしまった。
ウ 全頭検査によって感染の封じ込めには成功したものの、統計学に基づいた科学的調査が軽視されるようになった。
エ 日本人の中に全頭検査信仰のようなものが生まれ、結果よりも検査すること自体を重視する傾向が生じた。
オ 検査方法をめぐって米国の方針と意見が一致せず、互いに情報を共有しながら研究を進めることが難しくなった。

問6 傍線部③に「リスクは本質的にグラデーションであり」とありますが、どういう意味ですか。その説明として最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア リスクの本質は、リスクを恐れる人々の心の中にあるということ。
イ リスクの危険度は、場所や時代とともに変わっていくということ。
ウ 正しい知識を持つことによって、リスクの軽減は可能だということ。
エ リスクへの警告は、専門家から発信され世間に広まっていくということ。
オ リスクの受け止め方の程度には、人によって濃淡があるということ。

問7 傍線部④「それが欠けている。」の「それ」とは何ですか。本文中から十五字以内で抜き出しなさい。なお、句読点や記号も字数に数えること。

問8 傍線部⑤に「HIVやBSEについての情報と本質的に同じ力を持っている。」とありますが、ここでの「力」とはどのような場合に発揮される力ですか。その答えとして適当なことばを本文中から一〇字以内で抜き出しなさい。なお、句読点や記号も字数に数えること。

問9 傍線部⑥に「身体感覚という曖昧なものより情報を信じたほうがより確かで、安心な生活が送れるのではないだろうか。」とありますが、この「身体感覚という曖昧なものより情報を信じたほうがより確かで、安心な生活が送れるのではないだろうか。」という問いに、筆者は次節でどのように答えていくと思われますか。本文全体の内容を踏まえた上で、最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 自分の身体感覚は重要だが所詮は主観的なものにすぎないので、客観的な情報に頼る方が安全である。
イ 専門家の掲げる「正しい知識」であっても絶対正しいとは言い切れないので、吟味することが重要である。
ウ 分業化が進んだ現代社会においては、リスクを回避するために各分野の専門家の知識を活用すべきである。
エ たとえ曖昧であったとしても自分の身体感覚を重視することが安心な生活を送るうえで大切である。
オ 個人の情報収集力には限界があるので、現代においては他者からの情報を取り入れることが重要である。

国 語

	問題番号	解答
一	問 1	a オ　b イ　c ア　d エ　e ウ
	問 2	ウ
	問 3	エ
	問 4	ウ
	問 5	エ
	問 6	ア
	問 7	エ
	問 8	ウ
	問 9	ア

二	問 1	a エ　b ウ　c ウ　d ア
	問 2	エ
	問 3	ウ
	問 4	イ
	問 5	ア
	問 6	オ
	問 7	身体を巻き込むリスクの実感
	問 8	他者の排除や攻撃
	問 9	エ

【一般選抜1期　国語　出題意図】

一	教育の在り方を論じた文章を題材に、漢字力、文脈を踏まえた解釈や空欄に適切な言葉を補う能力、指示語の内容把握、および文章の全体構成を捉える力を評価します。
二	リスク社会との向き合い方を論じた文章を題材に、語句の意味や四字熟語などの語彙力、文章の展開に応じた適切な接続語の使用、文脈を踏まえた部分読解、および筆者の主張を読み取る力を評価します。